

競技注意事項

1 競技について

- (1) 本競技会は、**2024 ワールドアスレティック規則並びに 2024 年日本陸上競技連盟競技規則、国内競技会における広告及び展示物に関する規定及び本大会申し合わせ事項によって実施する。**
- (2) 競技者招集について
 - a 招集所は、本競技場 100m スタート付近第 4 ゲート脇の地下通路に設ける。
 - b スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻 1 時間前より本競技場第 4 ゲート付近に掲示する。(招集開始時刻までには、招集所に集合すること) 招集開始時刻より点呼を開始する。
 - c 競技者本人がアスリートビブス、競技用シューズのピンおよびシャツ・バッグ等の商標チェックを受け、最終点呼を受けること。ただし、2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻前までに「2 種目同時出場届」(招集所に置いてある)を招集所に提出すること。
 - d 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。
 - e 出場種目を欠場する場合は、招集所に置いてある「欠場届」に必要事項を記入し、当該種目の招集開始時刻までに招集所に提出すること。
 - f 棒高跳競技者は招集所においてある「支柱移動申込用紙」を招集後に棒高跳競技役員に提出すること。
 - g 招集所から競技場所への移動は係員の指示に従うこと。
 - h 混成競技においては、1 日目、2 日目の第 1 種目は招集所で点呼を受けること。ただし、第 2 種目以降は混成競技者控室にて点呼後(トラック競技は競技開始の 20 分前、フィールド競技は 40 分前)、係員の誘導により競技場所へ移動する。混成競技者控室は、フィニッシュ地点脇の大会運営室 1 に設ける。
- (3) アスリートビブスについて
 - a 競技者は競技中、主催者が用意した 2 枚のアスリートビブスを、大きさを変えずに胸と背にはっきりと見えるように付けなければならない。跳躍種目の競技者は胸または背のどちらか一方でもよい。
 - b トラック競技に出場する競技者は、主催者が用意する写真判定用の腰ナンバー標識を右やや後方に付ける。リレー競技については、4×100mR は第 4 走者のみ、4×400mR は第 2・第 3・第 4 走者とも右やや後方に付けること。
 - c 1500m 以上のレースについては、主催者が用意するレーンナンバーのビブスを使用する。**競歩は胸と背、それ以外は胸のみとし、自分のアスリートビブスを背に付ける。**
 - d 混成競技最終種目では、総合順位の高い競技者から順番に「1」「2」「3」…と順位を示す主催者が用意するアスリートビブス(胸のみ)を使用する。
- (4) トラック競技での不正スタートは日本陸連競技規則 162 条の規定通りとする。
- (5) **スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき 9 mm 以下とする。また走高跳及びやり投の場合は 12 mm 以下とし、ピンの数は 11 本以内とする。**
- (6) シューズの靴底(ソール)の厚さについて(WA 規則第 143 条 TR5 に準ずる)
 - a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - b トラック種目について、800m 未満の種目(4×100mR、4×400mR を含む)は 20mm 以下、800m 以上の種目は 25mm 以下とする。ただし、競歩については 40mm 以下とする。

- c フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳は25mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソールの厚さは、シューズかかと部の中心点のソールの厚さを超えてはならない。

※日本陸連競技規則に準ずる。

(7) 組・走路順および試技順について

- a トラック競技における予選ならびに決勝のみのトラック競技のレーンおよびフィールド競技における試技順はプログラム記載の通りとする。
- b トラック競技における準決勝、決勝の走路順は番組編成員により公正に抽選し、第4ゲート付近の掲示板に貼り出す。
- c 七種競技の800mは1組で行う。

(8) リレー競技について

- a リレーのオーダーは、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、第1組の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。
- b リレーに出場するチームは、同系統のユニフォームを着用すること。

(9) 跳躍競技のバーの上げ方について

下記の通りとする。ただし、天候等の状況により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。

1位及び全国大会出場の設定を要するときは、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって決定する。

走高跳	男子	練習 1m80 1m90	1m85 1m90 1m95 2m00 2m03 以後 3cm
	女子	練習 1m40 1m50	1m45 1m50 1m55 1m58 1m61 以後 3cm
混 成 走高跳 (2ピット)	八種	練習 1m40 1m65	1m45 1m50 1m55 1m60 1m65 1m68 以後 3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
	七種	練習 1m15 1m35	1m20 1m25 1m30 1m35 1m38 以後 3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
棒高跳	男子	練習 3m60 4m00 4m40	3m80 3m90 4m00 4m10 4m20 以後 10cm
	女子	練習 2m30 2m70 3m00 3m30	2m40 2m50 2m60 2m70 2m80 以後 10cm

※ 三段跳の踏切板は、砂場まで男子12m、女子9mとする ※ 棒高跳の練習はゴムバー使用

(10) フィールド競技について

フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

(11) 助力について

主催者が指定したコーチングエリア以外での助言等は禁止する。本スタジアムにおいては、録画されたものを確認するためにコーチ席との機器の受け渡しをすることはできない。また、受け渡しをしない場合でも、自撮り棒などを使用した録画媒体の確認は危険を伴うので行わないこと。スマートフォンや携帯電話もしくは類似の通信機器などを競技区域内で所持または使用することはできない。

(12) 競技用具について

競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、**女子ハンマータン
グステン (4 kg)** と「やり」については、通知した競技場備え付けの投てき用具リストに無いもの及び、2本以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。検査場所は本競技場正面受付脇に設け、検査時間は当該種目のある日の9時00分 (**14日は8:00**) から12時00分 (**15日は13時00分**) までとする。検査で合格したやりは大会本部で借り上げ、参加競技者で共有できるものとする。なお、借り上げたやりが破損しても責任を負わない。借り上げたやりは競技終了後1時間以内に検査場所に取りに来ること。その際、預かり証を提示すること。棒高跳用「ポール」については検査の上、各自が持参したものを使用する。検査は招集後に当該跳躍場にて行う。ポールの配送については取り扱わない。

2 表彰について

- (1) 各種目とも8位までの入賞者を表彰する。8位までの入賞者は競技役員の指示に従い、入賞者控所に移動すること。
- (2) 男女総合、トラック・フィールド競技の部は男女それぞれ3位まで表彰する。
- (3) 表彰はチームジャージ等で出席すること（ユニフォームでの参加は原則禁止）。

3 応援について

- (1) 競技に支障のあるような応援はしないこと。
- (2) 集団応援等はサイド、バックスタンド上段で行うこと。その際フィールド競技に支障が無いようにする。
フィールド競技については競技進行上、トップ8決定まで手拍子応援を求めない。
- (3) 横断幕・のぼり旗などの応援布はサイドスタンド・バックスタンド中段より上の手すりのみ許可する。

4 応急処置について

大会期間中の事故については本競技場医務室にて応急処置のみ行う。怪我等への対応のみとし、発熱等内科的処置は行わない。

5 その他

(1) トラック種目の衣類運搬について

100m・200m・1500m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100mRの第4走者の衣類については、フィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mRの第1～3走者については、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。

(2) **メインスタンド下通路（大会運営室側）は、競技者の通行ができない。競技終了後は第1・4ゲートおよび地下通路より競技場外へ出ること。ただし、各競技の入賞者は競技役員の誘導により、表彰者控所へ移動する。**

(3) 本競技場の開場について

6月13日（木）は10時15分、14日（金）～16日（日）は7時00分とする。

(4) 学校受付は、デンカビッグスワンスタジアム正面入口にて下記の時刻で行う。

6月13日（木） 10時00分～17時00分

6月14日（金）、15日（土）7時30分～16時00分 6月16日（日） 7時30分～12時00分

(5) 写真・ビデオ等の撮影については受付で撮影許可を受けること。また撮影禁止エリアでの撮影は禁止する。

(6) **WRK・WA規則の適用（リレー競技、競歩、投てき、混成競技は除く）**

- ① 同時申し込みを含めて試技時間に競技者が不在の場合はパス扱い（－）とする。（TR4.3）（混成競技は除く）
- ② トラック種目で、不正スタートを告げられた選手が抗議中として競技継続することは許可しない。（TR8.4は適用しない）
- ③ フィールド種目の試技の途中での抗議（競技中の抗議）は許可しない。（TR8.5は適用しない）
- ④ その他、WA 競技規則において国内適用任意の項目は適用しない。
- ⑤ 広告・商標については、国内競技会における広告及び展示物に関する規定を適用する。規定外のものはテープを貼って対処すること。